



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社

コード番号 4082

URL <https://www.dkkk.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 剛

問合せ先責任者(役職名) 財務経理部長

(氏名) 松本 克己

(TEL) 06-6206-3311

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,321	△3.3	2,590	△26.0	2,603	△27.2	1,777	△28.1
2019年3月期第3四半期	21,010	11.2	3,499	△4.9	3,576	△2.0	2,470	△0.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,788百万円(△25.1%) 2019年3月期第3四半期 2,387百万円(△4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	73.37	—
2019年3月期第3四半期	102.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	50,099	29,090	57.0
2019年3月期	45,768	27,265	59.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 28,566百万円 2019年3月期 27,211百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	9.00	19.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	1.1	3,600	△14.7	3,500	△18.8	2,400	△22.4	99.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	24,400,000株	2019年3月期	24,400,000株
2020年3月期3Q	155,943株	2019年3月期	188,407株
2020年3月期3Q	24,227,875株	2019年3月期3Q	24,183,214株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における世界経済は、米中貿易摩擦の通商政策をめぐる不確実性の高まりや海外景気の減速が企業の設備投資マインドを下押ししており、雇用・所得環境は底堅く推移しているものの、依然、輸出産業、製造業を中心に低迷が持続しました。

当社グループの主要顧客であります自動車業界におきましては、ライトビークル市場(乗用車・小型商用車)において、中国の新車販売台数減少の影響を受けて世界自動車販売台数は前年割れの状況が継続しております。米中貿易摩擦は、足元では沈静化の動きがあるものの、引き続き自動車市場にとってのリスクとして残っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売数量が前年同期比で4.4%減少した影響等により、20,321百万円(前年同期比3.3%減、業績予想27,800百万円に対して進捗率73.1%)、営業利益は、販売数量減少による影響や販売費及び一般管理費の増加等により2,590百万円(前年同期比26.0%減、業績予想3,600百万円に対して進捗率72.0%)、経常利益は2,603百万円(前年同期比27.2%減、業績予想3,500百万円に対して進捗率74.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,777百万円(前年同期比28.1%減、業績予想2,400百万円に対して進捗率74.1%)となりました。

(注) 進捗率は、2019年11月14日公表の連結業績予想と比較しております。

用途別の販売状況は、次のとおりであります。

#### (触媒用途)

当社グループの主力製品である自動車排ガス浄化触媒材料は、近年の世界的な環境規制強化によるハイエンドな機能性材料への旺盛な需要を反映し、自動車販売動向を上回る伸び率で推移してまいりました。しかし、世界最大の自動車市場に成長した中国の販売不振は、世界自動車販売台数に大きな影を落としており、その影響を受け当社製品の売上高も前年同期を下回る結果となりました。

これらの結果、触媒用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,171百万円(前年同期比9.2%減、業績予想15,857百万円に対して進捗率76.8%)となりました。

#### (ファインセラミックス用途)

欧州を中心に展開している歯科材料は復調傾向にありますが、キッチンセラミックスなどの民生用セラミックス材料において需要が一巡した影響を受けたことに加え、堅調に推移してきた産業構造材等においても製造業の景況感悪化の影響を受けて弱含みで推移し、売上高は微増となりました。一方で、当社グループの次世代主力製品と期待しております燃料電池材料は、当四半期では一部で在庫調整の影響を受けたものの堅調な販売が継続しています。

これらの結果、ファインセラミックス用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,395百万円(前年同期比24.4%増、業績予想3,335百万円に対して進捗率71.8%)となりました。

#### (電子材料・酸素センサー用途)

電子材料は、中国経済減速の影響から、半導体需要の減少やスマートフォン販売の低迷等による業界全体の生産調整を受けて、圧電素子やセラミックコンデンサ用途の売上高が減少いたしました。二次電池材料は、車載用、定置用ともに需要が拡大する傾向にあり、前年同期比で売上高は大きく増加いたしました。当四半期では、一部で在庫調整の影響を受けております。一方、酸素センサー材料は、主要顧客向けが底堅く、二輪用への展開も進んでおり堅調に推移いたしました。

これらの結果、電子材料・酸素センサー用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,211百万円(前年同期比16.1%増、業績予想3,778百万円に対して進捗率58.5%)となりました。

#### (耐火物・ブレーキ用途)

耐火物材料は、中国が牽引する堅調な世界粗鋼生産の影響を受けて好調に推移し、売上高は増加いたしました。ブレーキ材は、販売数量は堅調であるものの販売単価が低下した等の影響を受け、売上高は減少いたしました。

これらの結果、耐火物・ブレーキ用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,198百万円(前年同期比0.4%減、業績予想2,898百万円に対して進捗率75.9%)となりました。

(その他用途)

アルミニウム配管のろう付に使用されるセシウムフラックスは、自動車市場悪化の影響により自動車用途が伸び悩み、売上高は前年同期比で減少いたしました。液物製品等の販売は堅調に推移しましたが、一部顧客の在庫調整の影響等を受けて、その他用途の売上高は、前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、その他用途の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,344百万円(前年同期比14.2%減、業績予想1,929百万円に対して進捗率69.7%)となりました。

(注) 進捗率は、2019年11月14日公表の連結業績予想と比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は50,099百万円で、前連結会計年度末に比べ4,330百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の増加(3,441百万円)、たな卸資産の減少(386百万円)によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は21,009百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,505百万円増加しました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の増加(5,113百万円)、流動負債その他の減少(1,704百万円)、支払手形及び買掛金の減少(684百万円)、未払法人税等の減少(509百万円)によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は29,090百万円で、前連結会計年度末に比べ1,824百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加(1,317百万円)、連結子会社に対する国際協力銀行からの出資等による非支配株主持分の増加(469百万円)によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末59.5%から57.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,215,588	8,224,812
受取手形及び売掛金	5,197,166	5,246,142
有価証券	300,000	500,000
製品	4,209,383	4,837,002
仕掛品	2,740,381	2,198,465
原材料及び貯蔵品	4,143,308	3,670,699
その他	2,297,267	2,054,868
流動資産合計	26,103,095	26,731,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,206,375	5,137,441
機械装置及び運搬具(純額)	5,027,910	4,431,724
土地	1,752,062	1,752,062
建設仮勘定	3,285,828	5,435,566
その他(純額)	602,305	559,049
有形固定資産合計	13,874,482	17,315,844
無形固定資産	355,068	1,156,609
投資その他の資産	5,436,238	4,895,275
固定資産合計	19,665,790	23,367,729
資産合計	45,768,886	50,099,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,479,399	794,749
短期借入金	1,200,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,198,117	2,647,700
未払法人税等	692,844	182,960
賞与引当金	265,955	156,787
その他	3,492,699	1,787,714
流動負債合計	9,329,015	7,169,911
固定負債		
長期借入金	9,050,837	13,715,250
退職給付に係る負債	1,051	1,124
その他	122,767	123,269
固定負債合計	9,174,656	13,839,644
負債合計	18,503,672	21,009,556
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,104,864	1,121,672
利益剰余金	25,114,615	26,431,757
自己株式	△70,089	△57,901
株主資本合計	26,936,490	28,282,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,561	212,169
為替換算調整勘定	109,882	94,778
退職給付に係る調整累計額	△24,730	△23,403
その他の包括利益累計額合計	274,713	283,543
非支配株主持分	54,010	523,991
純資産合計	27,265,214	29,090,163
負債純資産合計	45,768,886	50,099,720

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	21,010,459	20,321,650
売上原価	14,462,102	14,502,400
売上総利益	6,548,357	5,819,250
販売費及び一般管理費	3,048,448	3,228,682
営業利益	3,499,909	2,590,567
営業外収益		
受取利息	31,935	64,374
受取配当金	11,949	16,619
為替差益	53,464	—
助成金収入	11,179	4,383
その他	56,502	73,085
営業外収益合計	165,030	158,463
営業外費用		
支払利息	9,763	29,365
為替差損	—	89,815
持分法による投資損失	55,281	23,980
支払手数料	16,500	—
その他	7,110	2,103
営業外費用合計	88,655	145,264
経常利益	3,576,284	2,603,766
特別損失		
災害による損失	26,840	—
固定資産除却損	71,721	12,662
特別損失合計	98,561	12,662
税金等調整前四半期純利益	3,477,722	2,591,103
法人税、住民税及び事業税	924,134	814,427
法人税等調整額	82,134	△6,602
法人税等合計	1,006,268	807,824
四半期純利益	2,471,453	1,783,279
非支配株主に帰属する四半期純利益	994	5,791
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,470,459	1,777,487

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,471,453	1,783,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,533	22,607
為替換算調整勘定	△55,369	△18,838
退職給付に係る調整額	8,831	1,326
持分法適用会社に対する持分相当額	△587	0
その他の包括利益合計	△83,658	5,096
四半期包括利益	2,387,795	1,788,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,389,390	1,786,318
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,594	2,057



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当該会計基準の適用の結果、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、無形固定資産が735,946千円増加し、投資その他の資産が735,946千円減少しております。